研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療後経過についての調査
研究期間：西暦 2025 年～西暦 2028 年 12 月
対象材料： □病理材料（対象臓器名：　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（診療録の情報　　） 上記材料の採取期間：　2012 年 1 月　～　2024 年 12 月
意義： 骨粗鬆症性椎体骨折に対する椎体形成術は確立された手術方法であるが、隣接椎体骨折やセメント関連の合併症はまだ解決出来ていない問題である。椎体形成術単独では手術部位の安定性が危惧される症例に対して、我々は椎体形成術に後方固定術を追加して行っているが、その成績についてまとまった報告はない。
目的： 当院で骨粗鬆症性椎体骨折に対して保存療法、椎体形成術単独、および椎体形成術＋後方固定術施行例の患者背景、術後経過（隣接椎体骨折、インプラント関連合併症）を明らかにすることにより、椎体形成術に後方固定術を追加する意義を調査すること。
方法： 2012 年 1 月より 2024 年 12 月の間に下関市立市民病院で保存療法、椎体形成術、および椎体形成術に後方固定を施行された症例を対象とする。電子カルテ上のデータを基に治療経過についての情報を収集する。 情報： １）患者情報（年齢、性別、画像所見、既往歴等） ２）治療情報（手術方法、術後経過等）
個人情報の取り扱い： 研究対象者には本研究特有の研究 ID を付し匿名化を行う。研究 ID と個人識別情報（氏名、カルテ番号）を結ぶ対応表は、施設の研究責任者が管理し、容易に個人を特定できないように匿名化した状態のデータのみを収集する。データはパスワードを設定したファイルとして管理し、パスワード保護されたコンピュータでデータを扱い、情報の漏洩に対する安全対策を講じる。また、対応表は外部には提供することはない。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しない。。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒７５０－８５２０ 山口県下関市向洋町一丁目１３番１号 下関市立市民病院　整形外科　部長　飯田　圭一郎 TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８